

芸術監督  
井上桂の

この人のここに注目!!



NHK「花子とアン」で注目!

主人公の相棒の刑事役

中島 歩さんて  
こんな人!

“意外性のかたまり!”

というのが、私の中島さんの印象です。

多くの方には、2014年上半期に放送された連続テレビ小説『花子とアン』で仲間由紀恵演じる蓮子と駆け落ちした、宮本龍一役が最初の記憶だと思います。外見はすらりとした長身のイケメンで、モデルもしていたというも頷けます。一方では、空手の有段者で、書道も準二段。おまけに大学では落語研究会に所属していたというのですから、そんな可笑しみを内在していたとは驚きです。大学を卒業後は、舞台俳優を目指して、アルバイトや下積みの日々を送っていたそうです。

そんな中島さんの舞台デビューは、美輪明宏主演の舞台『黒蜥蜴』。オーディションで200名の中から、雨宮潤一役に選ばれました。“美しいもの”を集める黒蜥蜴に見初められる役なのですが、客席から独特の色気を放つ中島さんの姿を拝見して、なるほどだなあ、と感じたことが思い出されます。2015年5月公開の初主演映画『グッド・ストライプス』で第7回TAMA映画賞最優秀新進男優賞を受賞、今年は映画『恋愛奇譚集』、NHKBS土曜ドラマ『植木等とのぼせもん』の久野征四郎役を演じるなど、印象深い役を演じて着実にキャリアを重ねています。また、この11月にはNHK教育の人気番組『きょうの料理ビギナーズ〜パツ江のスパルタ洋食塾』にご出演。こんなに硬軟織り交ぜた幅広い役で活躍できるのは、中島さんが若くして多彩な経験をされてきたからなのでしょう。

さて、今回の舞台『斜交』では、“取り調べ”という熱い戦いの渦中に飛び込む若い刑事を演じて頂きます。

「本読みで、“舞台の台詞は相手を説得するものだ”ということが、シンプルに作品の中にあると思いました。刑事役は初めてなのですが、近藤芳正さん演じる名刑事と筑波竜一さん演じる容疑者が舞台に作り出す緊迫した空気の中に私が飛び込むので、役柄と同様、自分はそこについていくのに必死です。」

言葉を一つ一つ選びながら答えてくれた中島さん。

取調室で織りなされる会話は、ひとりひとりの人生を賭けた発言です。作家の書いた台詞のすべてに狙いと意図がある。だからこそ、演出家の俳優へのリクエストも細かく粘り強い。どの俳優も、そのリクエストに応えることで自分の役を深めていくのですが、“付いていく”と言いながら、中島さんの変化や深めぶりが幅広く面白い。変化を恐れない柔軟さと懐の深さが、意外性につながっているのかもしれないね。

“人間・中島歩”も、“俳優・中島歩”も見逃せない、そんな稽古場です。



主演・近藤芳正さんと。

## PROFILE .....

なかじま・あゆむ ●モデルとして活動したのち、2013年美輪明宏演出の舞台『黒蜥蜴』で鮮烈にデビュー。'14年にはNHK連続テレビ小説『花子とアン』で仲間由紀恵演じる蓮子の駆け落ち相手役で一躍脚光を浴びる。映画でも'15年『グッド・ストライプス』で菊池亜希子とW主演を果たし、TAMA映画賞最優秀新進男優賞を獲得するなど、各ジャンルで目覚ましい活躍を見せる若手の注目株の一人。今回の演出の高橋正徳とは、朗読劇『春のめざめ』以来、二度目のタッグとなる。